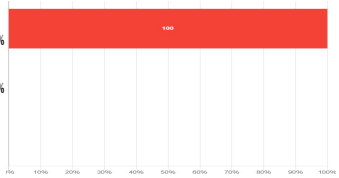
職員による自己評価【わたぼうし】

回収期間: 2021年12月1日 ～ 2021年12月25日
サンプル数: 5 / 5　回収率: 100.00%　　設問数: 50

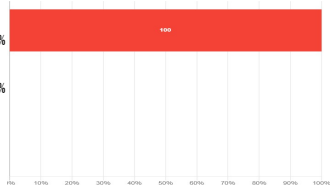
Q1：利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか

はい	5	100.00%
いいえ	0	0.00%
工夫している点、課題や改善すべき点など	0	



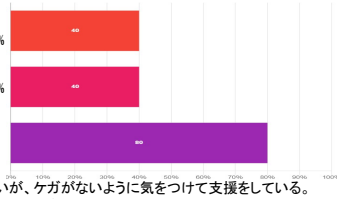
Q2：職員の配置数は適切であるか

はい	5	100.00%
いいえ	0	0.00%
工夫している点、課題や改善すべき点など	0	



Q3：生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか

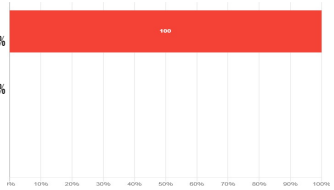
はい	2	40.00%
いいえ	2	40.00%
工夫している点、課題や改善すべき点など	4	下記



・一部、バリアフリー化されていないが、ケガがないように気をつけて支援をしている。
・階段があるので、完全にバリアフリー化ができてはいない
・危険個所については、修繕をしています。
・情報量が多く、どこに注目したらいいか分かりにくい。

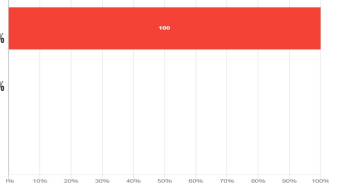
Q4：生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか

はい	5	100.00%
いいえ	0	0.00%
工夫している点、課題や改善すべき点など	0	



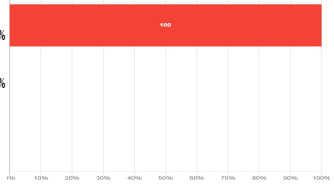
Q5：業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか

はい	5	100.00%
いいえ	0	0.00%
工夫している点、課題や改善すべき点など	0	



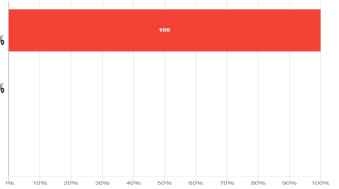
Q6：保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか

はい	5	100.00%
いいえ	0	0.00%
工夫している点、課題や改善すべき点など	0	



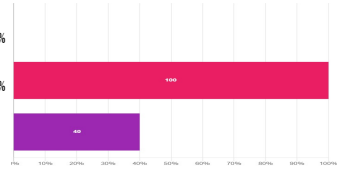
Q7：事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか

はい	5	100.00%
いいえ	0	0.00%
工夫している点、課題や改善すべき点など	0	



Q8：第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか

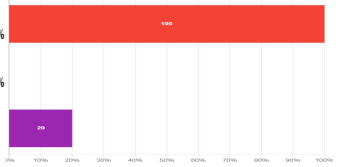
はい	0	0.00%
いいえ	5	100.00%
工夫している点、課題や改善すべき点など	2	下記



・今後、第三者評価を受けるか検討をしていきます。
・現在、第三者委員会等は設置していない。

Q9：職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか

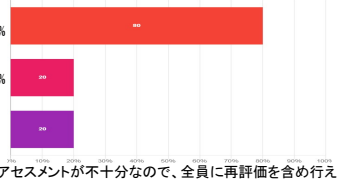
はい	5	100.00%
いいえ	0	0.00%
工夫している点、課題や改善すべき点など	1	下記



・新入職員向けに学習会を始めた。なるべく自分でも自己学習するようにしている。

Q10：子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

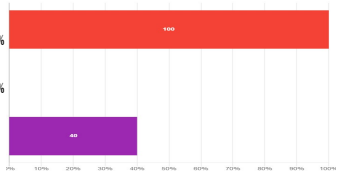
はい	4	80.00%
いいえ	1	20.00%
工夫している点、課題や改善すべき点など	1	下記



・身体面や認知面のフォーマルなアセスメントが不十分なので、全員に再評価を含め行えると良い。

Q11：アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか

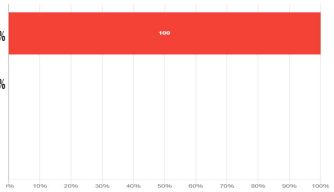
はい	5	100.00%
いいえ	0	0.00%
工夫している点、課題や改善すべき点など	2	下記



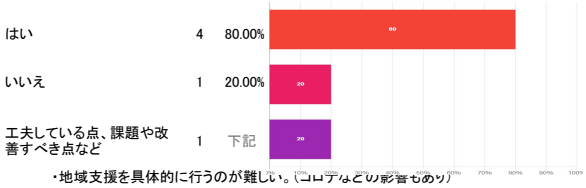
・今度はVienland-Ⅱも使えるようにしていきます。
・アセスメントされたものや本人・家族の希望などの情報収集を行うようにしている。

Q12：子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画を作成しているか

はい	5	100.00%
いいえ	0	0.00%
工夫している点、課題や改善すべき点など	0	

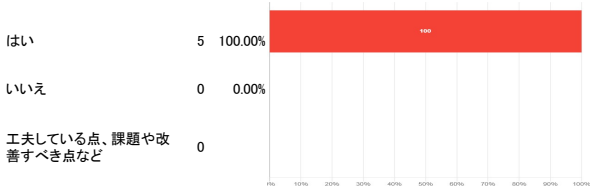


Q13：児童発達支援計画には、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、放課後等デイサービス計画には、基本活動を複数組み合わせた上で、具体的な支援内容が設定されているか

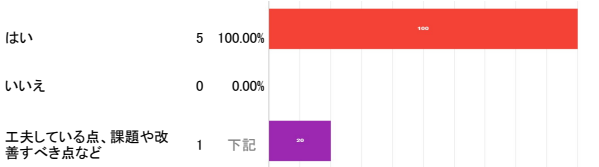


・地域支援を具体的に行うのが難しい。（コロナなどの影響もあり）

Q14：児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援を実施しているか

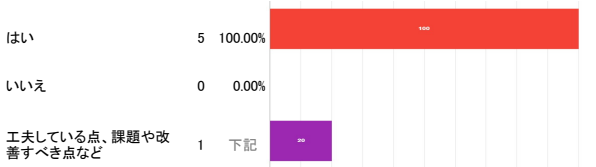


Q15：チーム全体での活動プログラムの立案を行っているか



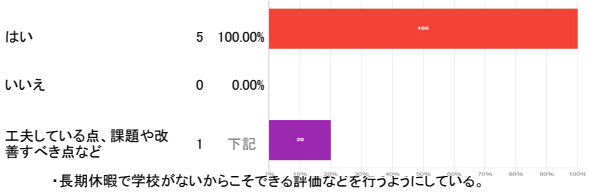
・評価内容や変化などを他職員にも伝え、ソーシャル等の活動で取り入れてもらうようにしている。

Q16：活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか



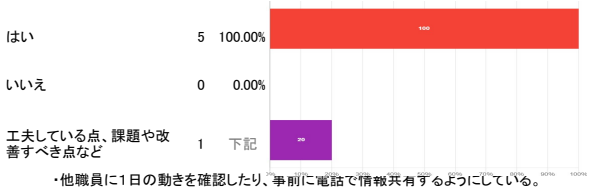
・同じようなプログラムになりやすいので、毎回計画を練る一部新しいものにするようにしている。

Q17：平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか



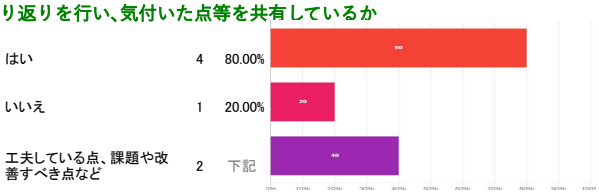
・長期休暇で学校がないからこそできる評価などを行うようにしている。

Q18：支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか



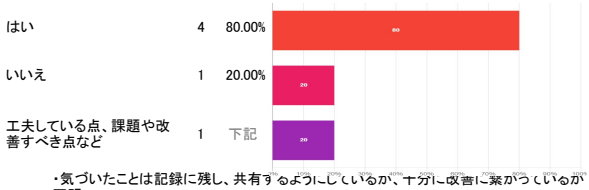
・他職員に1日の動きを確認したり、事前に電話で情報共有するようにしている。

Q19：支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか



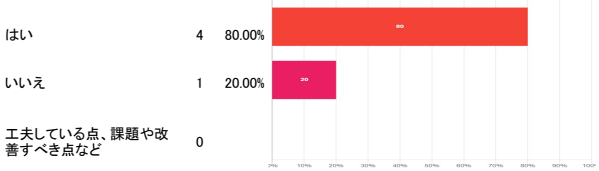
・支援の振り返りをし、翌日の支援に直ぐ活かせるようにしています。
・気づいたことはその日のうちに伝えるようにしている。話し合いにもう少し参加できるといいと思う。

Q20：日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか

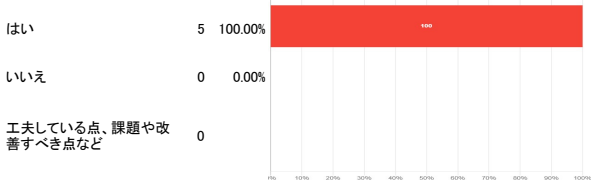


・気づいたことは記録に残し、共有するようにしているが、十分に改善に繋がっているか不明。

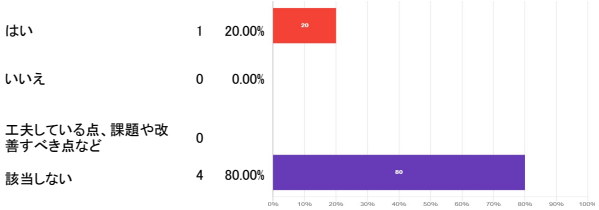
Q21：定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか



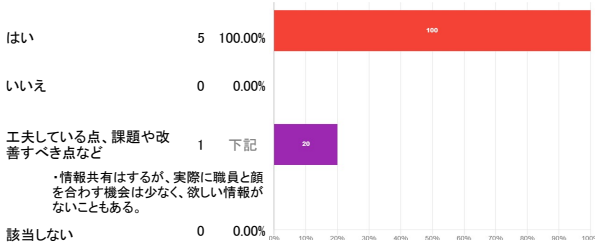
Q22：子どもの状況に精通した最もふさわしい者が障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に参画しているか



Q23：児童発達支援事業所では、母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか

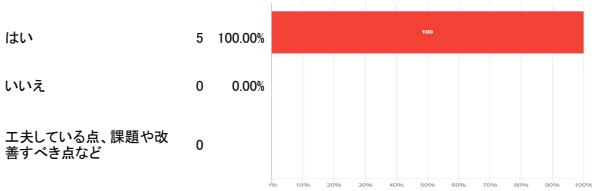


Q24：放課後等デイサービスでは、就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか

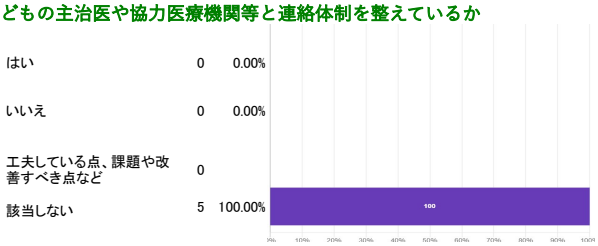


・情報共有はするが、実際に職員と顔を合わす機会は少なく、欲しい情報がないこともある。

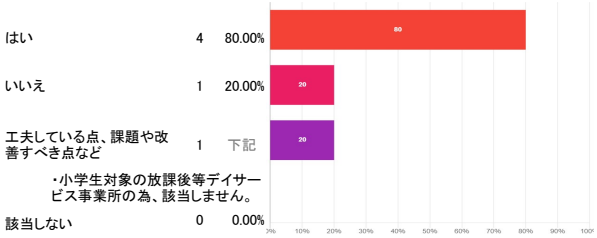
Q25：保育園、幼稚園、学校等との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか



Q27：（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか

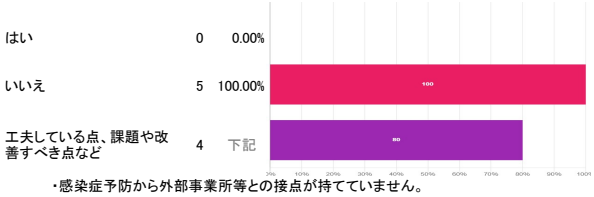


Q29：学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか



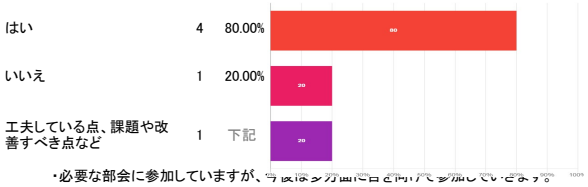
・小学生対象の放課後等デイサービス事業所の為、該当しません。

Q31：児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか



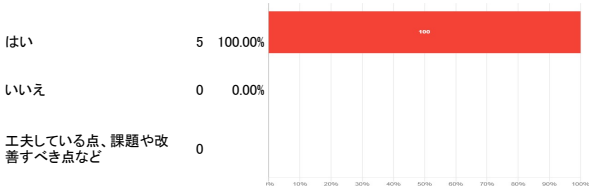
・感染症予防から外部事業所等との接点が持てていません。
・コロナ禍のため控えている
・コロナ禍のため、現在は実施できていません。感染予防に配慮しながら、交流できる方法を考えていきます。
・現在はコロナウイルスの関係から実施出来ていない。

Q33：（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか

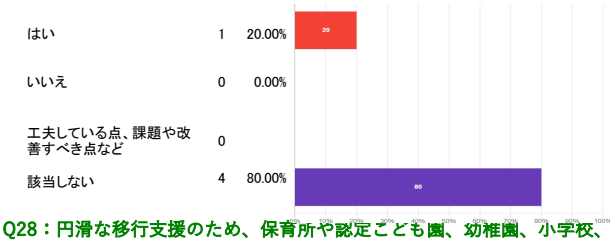


・必要な部会に参加していますが、今後は多方面に目を向けて参加していきます。

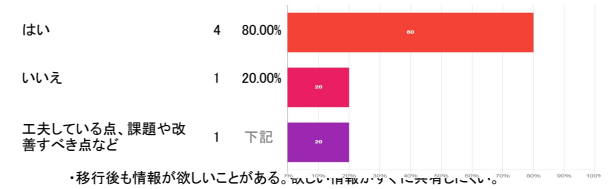
Q35：各ガイドラインに基づき作成された児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の同意を得ているか



Q26：（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか

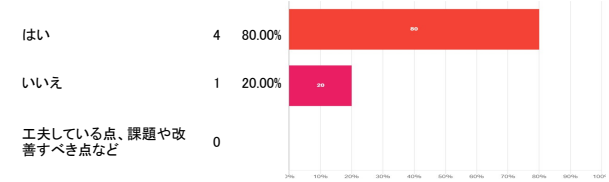


Q28：円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有と相互理解をはかっているか

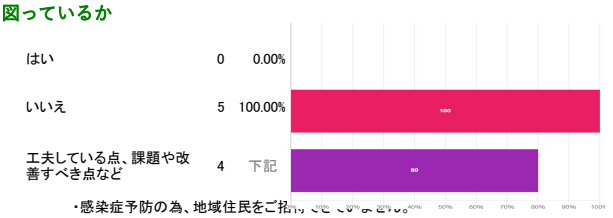


・移行後も情報が欲しいことがある。欲しい情報がすぐに共有しにくい。

Q30：児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか

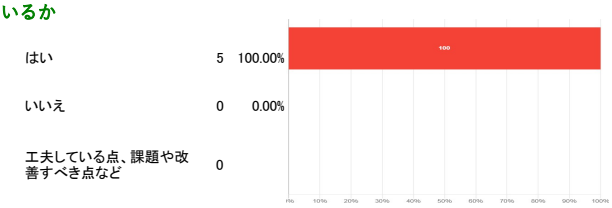


Q32：事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか

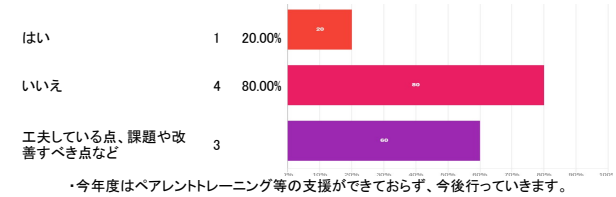


・感染症予防の為、地域住民をご招待できなかった。
・コロナ禍のため控えている
・コロナ禍のため、現在は出来ていません。
・現在はコロナウイルスの関係から実施出来ていない。

Q34：運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

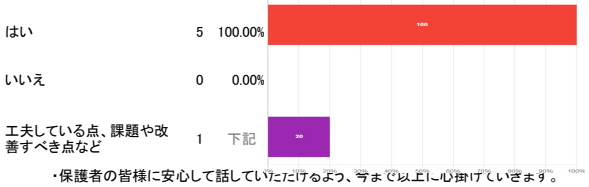


Q36：保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか



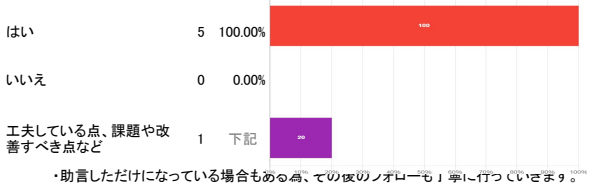
・今年度はペアレントトレーニング等の支援ができておらず、今後行っていきます。
・現在は行っていない
・不定期で保護者向け学習会を開催していましたが、今年度は実施できていません。

Q37：日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか



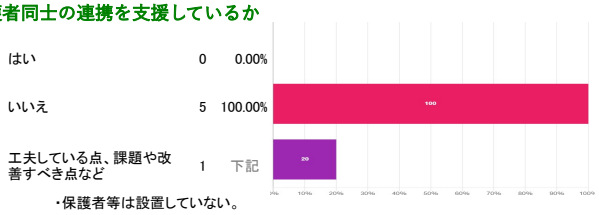
・保護者の皆様に安心して話していただけるよう、今まで以上に心掛けていきます。

Q38：定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか



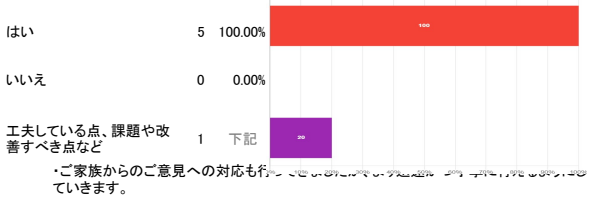
・助言しただけになっている場合もある点、その後のフォローも丁寧に行っていきます。

Q39：父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか



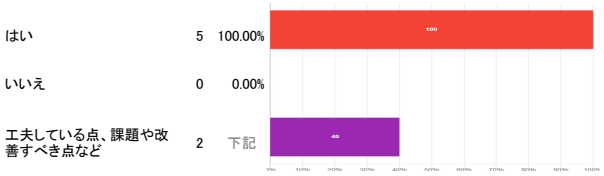
・保護者等は設置していない。

Q40：子どもや保護者からの相談や苦情・申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や苦情・申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか



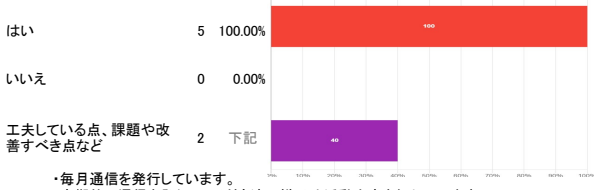
・ご家族からのご意見への対応も行っていきます。

Q41：障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか



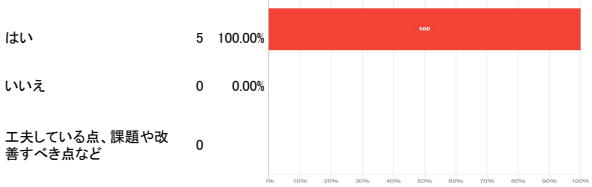
・口頭での説明のみでなく、紙やメールで詳しくお伝えしています。
・カードやプロンプトなど言葉以外のツールも使うようにしている。

Q42：定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

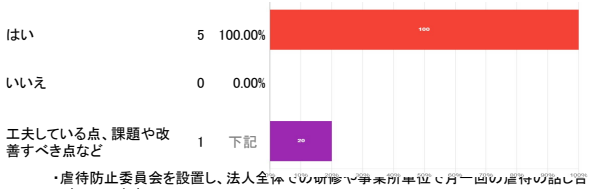


・毎月通信を発行しています。
・定期的に通信を発行し、子ども達の様子や活動内容を伝えています。

Q43：個人情報の取扱いに十分注意しているか

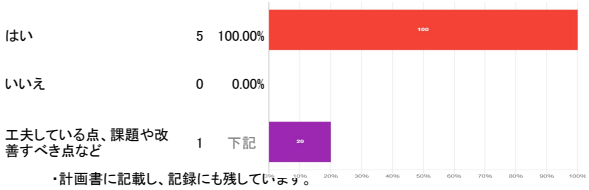


Q44：虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか



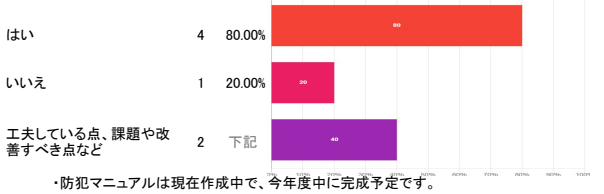
・虐待防止委員会を設置し、法人全体での研修や事業所単位で月一回の虐待の話し合いをしています。

Q45：どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に又は放課後等デイサービス計画に記載しているか



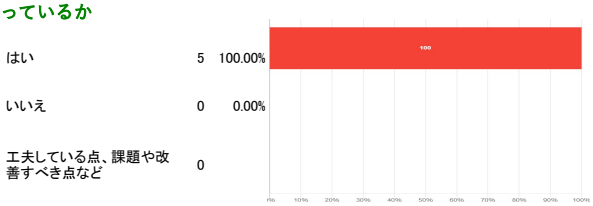
・計画書に記載し、記録にも残しています。

Q46：緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施

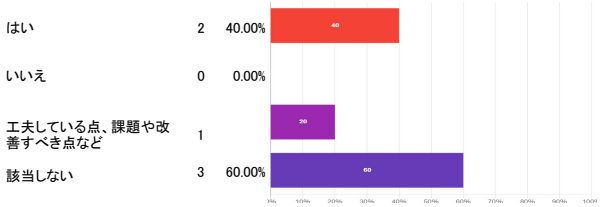


・防犯マニュアルは現在作成中で、今年度中に完成予定です。
・災害に対する訓練は実施しています。防犯マニュアルの作成、訓練は今年度中に予定し

Q47：非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか

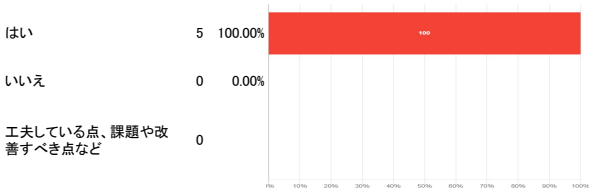


Q48：食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか



・医師の指示書の出ている児童はいないが、軽度のアレルギーでも注意して対応している

Q49：ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか



Q50：今までの項目で書ききれなかったことがあればご記入ください

回答記述なし